

報告日 令和5年2月10日

2022年度（令和4年度）おきぎんふるさと振興基金事業報告書

実践テーマ：「子ども食堂～みんなのあそびば～」

みんなのあそびば 会長 竹下夢香

●事業を開始するに至った経緯

内閣府が平成27年6月に取りまとめた「平成27年版 子ども・若者白書」で、沖縄県の子どもの貧困率が全国平均16.3%に比べ約2倍の29.9%であると発表があり、沖縄県民として大きな衝撃を受けました。そこで、私自身が持っている管理栄養士の資格を活かし、地域の子供たちや住民の方々に気軽に美味しく格差無く、栄養バランスが取れた温かい食事を提供したいという思いから、令和2年11月から月に約2回の子ども食堂を開催しています。

●実績

令和5年1月末時点で年間76回のイベント型子ども食堂を開催してきました。ボランティアスタッフには小学生から60代まで幅広く、世代間の交流も同時に持っています。子ども食堂というと貧困というイメージにより、参加しにくい場所とされていることを知り、誰もが参加しやすい子ども食堂として、地域の方々に親んでもらえるよう、毎回楽しいイベントを企画しております。

これまでサッカーやマジック、料理体験、無料のガチャポンなど地域の子供たちが楽しく参加できるよう工夫してきました。ピエロ（バルーンアート）や地元のゆるキャラ（プーラ君）の協力を得て、子ども食堂の駐車場で活動していると、通りすがりのご家族から楽しそう！と参加されることもありました。子どもだけでなく、親子で交流を深め、地域の子育てに役立てるよう日々努めております。

●今後の目標

これまで様々な種類のイベント型子ども食堂を行ってきましたが、今後は同じような活動が広がるよう普及活動をさらに広げていきたいと思っています。ひとつはキッチンカーによる子ども食堂により、沖縄県全土での活動を広げたいとおもっております。もうひとつはホームページやInstagram、ラジオなどを活用し、活動を知ってもらい、同じように子ども食堂を開きたいと思っている方や、子育て支援を行いたいと思っている方へ協力していきたいと思っています。

助成願理由となった研究・事業等の要旨

●事業概要

私たちの事業は主に栄養士のスタッフで構成され、食育体験活動による『子育て支援活動』と子ども食堂による『食事支援活動』を同時に開催しております。

●助成願理由

地域の居場所なることを目標に気軽に参加できる子ども食堂を目指し、イベント型の子ども食堂を開催しております。18歳までの子どもたちへの食事支援は無料としているため、食材料費、謝金、賃借料、賠償保険料、スタッフ交通費、備品購入費等の活動費を必要としていたことが理由でした。

●成果

①子ども達にはボランティアスタッフとして料理体験をしてもらっています。食に関わる機会に触れることは、沖縄の未来を担う子ども達にとって貴重な体験となり、将来の幅を広げることにつながったと思っております。小学校4年生から3年に渡り子ども大人たちに交じって、調理や受付のお手伝いを継続して行っていた児童も令和5年度からは中学生になります。これまで子ども食堂で経験したことをぜひこれからの学生生活や将来に活かしてもらえたらと思います。

②子ども食堂のマイナスイメージをなくすため、1000スマイルフォトという活動を子ども食堂と同時に行ってきました。子ども食堂に来られた方の写真を1枚1枚集め、Instagramに掲載してきました。令和5年1月末時点で600枚の写真が集まっています。子ども食堂は写真NGというイメージが払拭できたのではないかとと思っております。

③令和5年1月末時点で年間76回子ども食堂を行ってきました。継続して来られる世帯もあり、保護者との顔が見える子ども食堂ができております。また、助産師さんに無料の相談窓口を開設してもらったり、エステティシャンに無料のハンドマッサージをしてもらったりして、保護者の方も癒しの時間となるよう心がけて実施しました。保護者に気持や時間のゆとりが少しでもできることが、子育て支援に繋がるのではないかと思い、保護者の立場も意識した活動を実施しております。

